



県政報告 Vol.37

2026.3月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol. 37」をお届けします。今回は様々な行事への出席など議員としての活動の一端を紹介すると共に、2月定例愛知県議会の初日に知事が行った議案の提案説明の中から教育関係について紹介します。

2月定例愛知県議会はそれ以降、代表質問・議案質疑・委員会などが開催されましたが、それらの内容については紙面の都合上、次回発行の「県政報告Vol. 38」でお知らせ致します。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



1.11 日 感謝・謙虚・覚悟の二十歳の集い 皆様のご多幸をお祈りします

『2026かりや二十歳の集い』に来賓として出席しました。今年の対象者は1580名。刈谷市内には6つの中学校がありますが、それを3校ずつ2回に分けての実施です。



開会前には総合文化センターの前で立て看板と幟旗を持つ街頭活動。台風を思わせるような強風で、看板を押さえることに必死で

した。参加者にとって、節目の佳き日にこのような強風とは、「人生の逆風に負けるな」との大自然からの激励かもしれませんね。

刈谷市議会の鈴木正人議長が祝辞の中で引用された言葉が印象に残っています。「過去を振り返ると感謝。現在を生きるなら謙虚。将来を見据えるなら覚悟」自らの人生を振り返った時、確かにこの言葉は当てはまると思います。これまでお世話になった方々に感謝の気持ちを忘れず常に謙虚に、そして目標に向けて挑戦する覚悟を決めて、自らの人生を自らの手で切り拓いて行って欲しいと思います。

皆さんの人生が輝かしいものとなるよう祈っています。

1.15 木 アジア・アジアパラ競技大会の準備状況を視察しました

今日はアジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会の県内調査です。

午前中は自転車・BMXレーシング競技が行われる名古屋市中村区の名古屋競輪場を視察しました。

自転車・BMXレーシング競技は、330mの起伏あるコースを1分程走行タイムを競う競技で、1970年初頭、アメリカで発祥しました。オリンピックでは2008年の北京大会から正式種目になり、アジア競技大会では2010年の広州大会から正式種目になりました。今回の大会に合わせて名古屋競輪場内に工事費用約18億円を掛けてBMXレースコースが整備されています。

午後からは大会の開会式・閉会式、サッカー・陸上競技が行われる名古屋市瑞穂区のパロマ瑞穂スタジアムを視察しました。この大会に向けて新たに建て替えられた施設です。



アジア大会まであと247日、ハード面の整備は着々と進んでいます。後はソフト面をしっかりと進めて行くことが大切です。

1.27 火 ▶ 幸運な出会いの場「TechGALA Japan」が開催されました

今

日からから29日(木)までの3日間、地球の未来を拓くテクノロジーの祭典「TechGALA Japan 2026」が開催されます。

今回の特徴は…

- ◎世界的に著名なスピーカーの基調講演
- ◎140以上のパネルディスカッション
- ◎10の国と地域の15社によるピッチコンテスト
- ◎短時間で協業や資金調達の可能性を探る商談会
- ◎250社以上の展示
- ◎参加者の交流を促進するパーティー
- ◎110以上のサイドイベント

など魅力的な企画が盛り沢山です。

今日と28日の2日間は、中日ビルやナディアパークなどを会場とする栄地区、そして29日はSTATION Aiを会場とする鶴舞地区でイベントが開催され、新たな時代の連携を創出するグローバルな出会いの場が提供されます。

イノベーションはセレンディピティ(予期せぬ幸運な出会い)によって生まれます。



1.30 金 ▶ 私立高校の授業料・入学金が共に実質無償になります

私

立高校の「入学金が実質無償」になります。今朝の中日新聞でそのように報道されていました。

愛知県としては2月定例愛知県議会で議案として上程される予定ですが、来年度から愛知県においては、既に決定している国が行う『所得制限なしの私立高校の「授業料」の実質無償化』に加えて、愛知県として独自で入学金についても所得制限なしの無償化を実施するため、「授業料」だけでなく「入学金」も含めた「完全無償化」になります。全国初の愛知県独自の取り組みです。

昨年11月に発行した『日記で綴る県政報告Vol. 35』の中で「授業料の無償化は実現しようとしています、入学金についてはこれからです。入学金補助の所得制限を撤廃し

て無償化を図るなど、まだまだ県議として頑張らねばならないこともありますので、これからもしっかり取り組んでいきます」と掲載していましたので、今回の愛知県の決定は嬉しい限りです。

改めて「恩送り」の活動が実を結びました。



2.3 火 ▶ NHK大河ドラマ『豊臣兄弟!』 観光誘客のチャンスです

豊

臣兄弟!名古屋中村 大河ドラマ館』を見学しました。

撮影セットの再現、登場人物の衣装や小道具などが展示されていて、ドラマの名場面を思い出しながらか見学することが出来ました。

愛知県では今年度「豊臣兄弟!」を活用した誘客促進として、「名古屋駅へのインフォメーションセンターの設置」「周遊ドライブマップの作成」「滋賀県・奈良県と連携した周遊キャンペーンの実施」などに取り組んでいます。また、2026年度には関西圏での観光展の開催も計画しています。

3年前の『どうする家康』に続き、再び愛知県が大河ドラマの舞台になり、地域が大いに盛り上がることは大変嬉しいことです。

ぜひこの機会を観光誘客のチャンスに捉えて行きたいと思います。



2.5 木 刈谷市交通安全推進協議会 交通安全の意識を高めましょう

『令』

和8年刈谷市交通安全推進協議会』に出席しました。

春と秋の全国交通安全運動、夏と年末の交通安全市民運動、運動期間外でのその他の交通安全啓発、小学校や幼稚園などでの交通安全教室、交通事故死ゼロの日の活動など、様々な活動をして下さっています。



『昨年の愛知県における交通事故死者数は112名です。かつて「交通戦争」と言われていた時代、愛知県で最も死者数が多かったのは昭和44年の912名です。

安全対策が施された車両が進歩したこと、道路・信号機・横断歩道・ガードレールなどハード面が整備されたこと、そして警察の皆さんによる取り締まりなどが死者数が減少してきた要因であると思いますが、それらに加えて最も大切なことは「市民の交通安全に対する意識を高めること」です。そういった意味ではこの協議会の果たすべき役割は非常に大きいと言えます」…来賓としてそのような主旨で挨拶をさせて頂きました。

2.8 日 新たな拠点施設となる「譲渡推進センター（仮称）」が整備されます

『私』

の事務所において刈谷地域ねこの皆さんによる猫の譲渡会が行われました。

近年、動物愛護の気運が高まる中、国の動物愛護管理施策が、動物による危害を防止するための「保護・管理」から「愛護・譲渡推進」に重点を置くものに転換されたことを受け、現在、動物愛護センターでは、一頭でも多くの犬や猫が新たな飼い主の元で幸せに暮らせるよう、譲渡の推進に注力しています。

そしてこの度、動物の愛護や譲渡推進に特化した、新たな拠点施設となる「譲渡推進センター（仮称）」の整備を進めることとなりました。

候補地は尾張旭市の森林公園に隣接する県有地で、この場所は周囲が広大な自然に囲まれており、住民生活など周

辺環境に配慮しながら、保護犬・保護猫の飼養管理や新たな飼い主探しをする場所を確保できると共に、森林公園を訪れる幅広い世代の皆様にも足を運んで頂くことで、保護犬・保護猫との触れ合いの機会や動物愛護啓発イベントに参加頂く機会を増やすこともできるのではないかと思います。

<譲渡推進センター（仮称）の予定地>

尾張旭市大字新居（森林公園に隣接する県有地）



新年度予算において、基本計画の策定費などで約5千万円が計上される予定です。

2.9 月 大規模災害発生に備えて道路啓開の勉強会です

『愛』

知県知立建設事務所主催による『大規模地震時における道路啓開に関する勉強会』に出席しました。

道路啓開（どうろけいかい）とは、地震や津波などの大規模災害発生時、人命救助や物資輸送を行う緊急車両の通行を確保するために、道路に散乱した瓦礫を撤去したり、放置車両を移動させたりする作業のことです。

講師に陸上自衛隊第10師団第10施設大隊長堤様、名古屋国道事務所堀本様、愛知県建設局道路維持課熊谷様をお招きして、「災害派遣における陸上自衛隊の活動」「中部版[くしの歯作戦]について」「道路啓開にかかる車両移動に

ついて」のテーマでご講演を頂いた後、屋外にてレッカー移動訓練を行いました。

出席者は自治体職員や土木建設関係企業の皆様です。寒い中、災害に備えての勉強会お疲れ様です。



2.15 高次脳機能障害者支援法が4月より施行されます

高

次脳機能障害者(児)支援のための研修会に参加しました。

高次脳機能障害の中でも今日のテーマは「失語症者の支援について」です。失語症というのは、脳卒中(くも膜下出血・脳梗塞等)などの病気や交通事故・転落等で脳の言語



中枢が損傷することで発症します。話すことが困難になるだけでなく、聞く・書く・読む・計算する能力にも支障が出て、日常生活にも支障が出ま

す。仕事等の継続が難しく、家族や友人とも意思疎通ができにくく孤立する人が少なくありません。こうした「失語症」に対する理解を深めて、支援の輪を広げるための研修会です。名古屋市総合リハビリテーションセンター言語聴覚士の林春江氏と山田和子氏によるご講演の後、当事者による体験談発表がありました。

高次脳機能障害者支援法が昨年12月に国会において可決・成立し、いよいよ本年4月1日より全面施行され新たな支援体制がスタートします。

これからも患者さんやご家族に寄り添って、県としてもしっかり支援が出来るように働き掛けて行きたいと思います。

2.18 令和8年2月定例愛知県議会が開会しました

本

日から3月25日(水)まで36日間の会期で令和8年2月定例愛知県議会が開会されます。

冒頭、知事から議案の提案説明がありました。A4で49ページ、文字数約25,000文字を約1時間掛けての説明ですから内容は多岐に亘りますが、ここでは教育関係の内容について一部を紹介します…



- 35人学級を本県独自に中学校第2学年へ拡大
- 中高一貫教育について、2026年度に第二次導入校が開校(明和高校では、教室棟、中学校用体育館の建設工事を実施)
- いちのみや・とよた・こまき夜間中学校が2026年度に開校
- 県立高校に時代に即した産業教育設備を導入
- 小中学校段階で新たにキャリア教育コーディネーターを活用
- 公立小中学校等の児童生徒一人一台タブレット端末について、基金を活用し、端末更新を支援
- 県立高校及び県立特別支援学校高等部の保護者の経済的負担軽減のため、低所得世帯、ひとり親世帯、多子世帯等の学習用端末購入費用を支援
- 中学校の部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進を支援
- 校内教育支援センター(校内フリースクール)において、学習支援や相談支援を行う支援員を配置する市町村を支援
- 県立高校の体育館・武道場への空調設備の整備を推進
- 県立高校の特別教室や一部の管理諸室に空調設備を設置
- 県立学校のトイレの洋式化を早期に実施
- 県立附属中学校及び県立高校に防犯カメラを設置

- 総合教育センターについては、本年4月の移転に合わせて「教育支援センター(ステップステーションみらい)」を新たに開設
- 公立高校等の授業料の支援(いわゆる高校無償化)と公立小学校等の学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)を実施
- 私学助成について、経常費補助金の補助単価を引き上げるとともに、高等学校及び専修学校高等課程の授業料は、所得制限を廃止し無償化(いわゆる高校無償化)入学納付金も、所得制限を廃止し、本県独自に実質無償化
- 保護者の経済的負担軽減のため、低所得世帯、ひとり親世帯、多子世帯の学習者用端末購入費用を支援
- 本県初の設置となる県立高等専門学校について、組織体制の構築やカリキュラムの策定等の準備を進めるとともに、愛知総合工科高校校地内への新たな管理棟の整備に向けた設計を実施
- 外国語指導助手の活用による高校生の英語力強化や、専門高校生の海外インターンシップなどを通じて、グローバル人材を育成

